



「北上川における水災害について」

開催概要

- 開催日時 令和6年8月21日(水) 13:30~14:30
- 開催場所 東北電力 一関電力センター(一関市田村町)
- 参加者 東北電力従業員 26名
- 講座目的 一関地域の洪水リスクについて理解を深める

実施内容

今回の出前講座は、東北電力一関電力センターの水防訓練の一環として、当事務所職員が会社に出向いて出前講座を行いました。

まず最初に北上川の特徴を紹介し、過去に一関市内を襲った災害を振り返りながら国土交通省が進めてきた一関遊水地事業について、被害軽減効果を紹介しました。

次に近年の気候変動を踏まえた水災害対策として現在国土交通省が進めている「流域治水」について動画を活用しながら説明し、洪水に備えるため河川情報の入手の仕方や基準水位の考え方について説明しました。また、当事務所ホームページに掲載している「洪水氾濫シミュレーション」を紹介し、洪水時に一関市内が浸水する様子を見ていただきました。

参加者からは「流域治水プロジェクトによって一関遊水地事業を見直すことはあるか」や「五大ダムの操作によって狐禅寺地区の水位はどのように調整されているか」等の質問が出され、本講座への関心の高さを感じました。

今回の出前講座が、東北電力の皆様の一助となれば幸いです。

実施状況



講義の様子



会場の様子